

鳥根県斐伊川におけるチフチャフの初標識記録

脇坂 英弥

First Banding Record of Chiffchaff *Phylloscopus collybita* at Hiikawa River, Simane Prefecture.

Hideya WAKISAKA

チフチャフ *Phylloscopus collybita* は主にヨーロッパから東シベリアにかけての一带で繁殖し、南ヨーロッパからアフリカ中北部、インドまで越冬する(Cramp and Brooks 1992). Sevnsson (1992) によれば本種の亜種は *P. c. collybita*, *abietinus*, *tristis*, *lorenzii*, *sindianus* に分かれており、このうちウラル地方以東で繁殖する亜種 *tristis* は、他の亜種とは地理的に隔離されている (Helbib et al. 1996). 日本では、1997年11月3日に石川県舳倉島で大西敏一氏によりはじめて本種が観察され (森岡 1998). この個体は亜種 *tristis* と判別されている (大西敏一 私信).

筆者は1998年4月11日、鳥根県平田市斐伊川(35° 26' N, 132° 52' E, 標高0 m)においてバンディングを行った際、チフチャフ亜種 *tristis* (性不明, 成鳥) を日本で初めて標識放鳥したので報告する。なお、本種は山階鳥類研究所標識研究室に写真により同定していただいた。

調査地は、宍道湖の西岸に位置する斐伊川河口部の左岸河川敷で、ヨシ *Phragmites australis* 群落内に樹高2~3 mほどのタチヤナギ *Salix subfragilis* 群落が点在し、ところどころにススキ *Miscanthus sinensis*, オギ *Miscanthus sacchariflorus*, セイタカアワダチソウ *Solidago altissima* などが混生している低湿性の自然環境が広がっている。ここでの標識調査ではウグイス *Cettia diphone*, シマセンニュウ *Locustella ochotensis*, コヨシキリ *Acrocephalus bistrigiceps*, オオヨシキリ *Acrocephalus arundinaceus*, カシラダカ *Emberiza rustica*, オオジュリン *Emberiza schoeniclus* などが比較的良好に捕獲されている。カスミ網はA T X (36メッシュ×12m) 3枚とC T X (61メッシュ×12m) 1枚, H T X (30メッシュ×12m) 1枚の計5枚を連続して地上から高さ0.3~2.0 mの範囲で設置した。チフチャフは午前6時30分頃にA T Xの下から2段目の柵で捕獲された。恐らくヨシや藪に潜みながら移動していたものと思われる。

チフチャフは上面が灰褐色で、特に後頸から頸側にかけては灰色味が強く、不明瞭な翼帯が見られた。下面は白色で胸側から脇にかけては薄いバフ色を帯びていた。また上嘴、下嘴、ふ蹠がともに黒色であるところは、他のムシクイ類にない最大の特徴といえる (図1)。眉斑は白く明瞭であったが、輪郭はややぼやけていた。Cramp and Brooks(1992)は、亜種 *tristis* は上面にオリーブ色がなく、あってもごくわずかで延べており、このことから本個体は亜種 *tristis* と考えられる。性別は不明であった。年齢は頭骨に未含気化部分が確認されなかったことから成鳥と判別した。しかし、捕獲が

キーワード: チフチャフ, *Phylloscopus collybita*, 日本初標識記録, 斐伊川。

Key Words: Chiffchaff, *Phylloscopus collybita*, First banding record, Hiikawa River.



図1. 島根県斐伊川で捕獲されたチフチャフ *Phylloscopus collybita tristis* の全身と脚部 (1998年4月11日).

Fig. 1. Body and legs of Chiffchaff *Phylloscopus collybita tristis* banded at Hiikawa River, Shimane Prefecture on 11 April 1998.

4月なので確実に成鳥であったかどうか不明である。測定値は自然翼長56.1mm, 尾長18.7mm, 露出嘴峰長9.8mm, ふ跖長44.0mmであった。

チフチャフは、1997年11月の舳倉島、1998年4月の斐伊川と立て続けに迷行してきたことから、少数が日本海側を中心に通過していると考えられる。しかしムジセッカ *Phylloscopus fuscatus*などの類似種と混同され、見逃されているケースが多いのかもしれない。今後、観察記録および標識記録が増えることを期待する。

最後になったが、本誌への投稿を薦めてくださった山階鳥類研究所の茂田良光氏、チフチャフの観察記録について教示してくださった日本野鳥の会大阪支部の大西敏一氏に心よりお礼申し上げたい。

SUMMARY

The first banding record for Chiffchaff *Phylloscopus collybita* in Japan occurred on April 11, 1998 at the Hiikawa River, Shimane Prefecture, Japan Sea side of western Honshu. Chiffchaff breed mainly from Europe to eastern Siberia, and winter form southern Europe and north-central Africa to India. Five subspecies are recognized, with *P. c. tristis* being the only one that breeds east of the Ural Mountains, and thus thought to be geographically isolated from the other subspecies. The first observation record of Chiffchaff (identified as subspecies *tristis*) in Japan was at Ishikawa Prefecture, central Honshu, in 1997. These records suggested that Chiffchaff, subspecies *tristis* occasionally wander into Japan.

引用文献

- Cramp, S. and D. Brooks, 1992. The Birds of the Western Palearctic, VI. Oxford Univ. Press, Oxford.
- Helbig, A. I., J. Martens, I. Seibold, F. Henning, B. Schottler, and M. Wink, 1996. Phylogeny and species limits in the Palearctic Chiffchaff *Phylloscopus collybita* complex: mitochondrial genetic differentiation and bioacoustic evidence. *Ibis* 138(2):650-666.
- 森岡照明, 1998. 新しい識別の試み12. 舢倉島のチフチャフ. *Birder* 12(4):66-69.
- Svensson, L. 1992. Identification Guide to European Passerines. 4th, revised and enlarged edition. Published by the author, Stockholm.

脇坂英弥

〒674-0067 兵庫県明石市大久保町大久保町540-A412

Hideya WAKISAKA

540-A412, Ohkubo-cho, Ohkubo-cho, Akashi-shi,

Hyogo 674-0064